

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成30年6月6日現在

機関番号：34316

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02089

研究課題名(和文)16世紀スペインにおける人文主義教育思想の展開と実践

研究課題名(英文)The Spanish Renaissance Thought

研究代表者

安藤 真次郎(Ando, Shinjiro)

龍谷大学・文学部・教授

研究者番号：70309110

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、スペイン・ルネサンス思想の独自性を解明するために、16世紀スペインにおいて人文主義思想が教育の分野でいかに展開・実践されたかを検証した。教育の分野を対象とした理由は、人文主義者は総じて教育を重視するモラリストであったことから、人文主義思想が最も顕著に現れたのは教育の分野であると考えたからである。具体的には、次の4つのテーマについて考察している。アルカラ大学、サラマンカ大学、バレンシア大学におけるレトリック教育、アルカラ大学における宗教教育、エスパニョーラ島のサントドミンゴ大学の設立と発展、メキシコとペルーにおけるネブリハの文法書の影響についてである。

研究成果の概要(英文)：In this research we studied the evolution and the practice of the Humanist Thought in the field of education in Spain in the 16th century to define the characteristics of Spanish Renaissance Thought. As the Renaissance Humanists are basically moralists that give importance to education, we consider that their thoughts are easier to recognize in the field of pedagogy. Specifically, we discussed four topics: first, rhetoric education in the Universities of Alcala, Salamanca and Valencia; second, religious education in the University of Alcala; third, the foundation and the development of the University of Santo Domingo on the Island of La Espanola; and the last one, the influence of the Latin and Castilian grammar of Nebrija on Mexico and Peru.

研究分野：スペイン思想史

キーワード：ルネサンス 人文主義 スペイン思想 伝道語学 サラマンカ大学 アルカラ大学 バレンシア大学
サントドミンゴ大学

1. 研究開始当初の背景

スペイン・ルネサンス思想には、他のヨーロッパ諸国とは異なる独自性が見られる。その独自性は「血の純潔」を絶対視する異端審問に代表される保守的勢力と、「人間の価値は出自ではなく、行いにある」とするエラスムスの人文主義思想を取り入れようとした進歩的な知識人層との葛藤に起因すると考えられる。また「新大陸」の発見と征服により、先住民の教育という新しい問題が提起されたことも、スペイン・ルネサンスの独自性として看過できない。このようなルネサンス期スペインの思想的側面を考察するために、私たちは先に実施した『スペイン・ルネサンス思想研究における文献学的実証分析』(科研費 H24~26「挑戦的萌芽研究(課題番号 24652017)」)において、言語、教育、宗教、歴史の分野からスペイン・ルネサンス思想に関する基礎的研究を進めた。

この研究の結果、スペイン・ルネサンス思想の独自性をさらに解明するためには、16世紀スペインにおいて人文主義思想が教育の分野でいかに展開・実践されたかを検証する必要があると考えた。なぜなら、エラスムスに代表される人文主義者は総じて教育を重視するモラリストであったことから、人文主義思想が最も顕著に現れたのは教育の分野であると推察されたからである。

2. 研究の目的

ルネサンス人文主義教育思想という観点からスペインを捉え直すことで、16世紀スペインの知的潮流を明らかにし、ヨーロッパ思想史とラテンアメリカ思想史におけるスペイン・ルネサンス思想の独自性を解明することである。

3. 研究の方法

(1) 研究を進めるにあたり、まず「人文主義教育」「宗教教育」「新大陸における教育」「言語教育」という4つの分野を設定した。そしてそれぞれの分野において、人文主義教育思想が16世紀スペインでいかに展開・実践されたかを、スペイン人文主義者の著作・書簡および大学の設立と運営に関する当時の史料の文献学的実証を通して考察した。

(2) スペイン、メキシコ、ペルー、ドミニカ共和国に赴き、現地の大学・公共図書館や書店を訪れ、文献・資料蒐集を行った。

(3) 年4回の定期研究会を実施し、各人の研究の進捗状況を報告しあうとともに、研究の課題について意見交換を行い、知見を共有した。

(4) 2015年10月に神田外語大学で開催された「日本イスパニヤ学会第61回大会」において、パネル形式で研究発表を行った。

(5) 2016年10月に神戸市外国語大学で開催された「日本イスパニヤ学会第62回大会」において、「16世紀スペインにおける大学教育の理念と実践」というタイトルのパネル式研究発表を行った。

4. 研究成果

(1) 具体的な研究成果は、以下の通りである。

「人文主義教育」について

人文主義教育の目的は「人間」の形成、つまり自然のままの粗野な状態の人間 homoではなく、徳を備えた人間 vir を育成することであった。そのために必要な教育は、「善き言論」へと導く術であるレトリック、並びに「善き人間」とは何かを問う道徳哲学に基づくものであった。本研究では、16世紀スペインを代表する大学であるアルカラ大学、サラマンカ大学、バレンシア大学におけるレトリック教育の展開について検証した。

この問題については、ルネサンス教育思想史を専門とする安藤真次郎(研究代表者)が担当した。

「宗教教育」について

スペインにおいて神学の刷新を推進した人物として、枢機卿シスネロスの名を挙げることができる。『コンプルテンセ版多言語対照聖書』の編纂と同じく、シスネロスの主導によって設立されたアルカラ大学は、古典語を視座に入れた大学教育の先鞭となり、ギリシア語やヘブライ語の教授などによってスペインの人文主義に大きな影響を与えた。本研究では、新たな神学の府として設立されたアルカラ大学における宗教教育の理念と実践について考察した。

この問題については、宗教文学を専門とする野村竜仁(研究分担者)が担当した。

「新大陸における教育」について

スペイン領アメリカでは、大学の設立は16世紀前半から始まった。スペイン王室の指導下、サラマンカ大学をモデルとし、リマとメキシコに大学が設立されたことはよく知られ、研究の蓄積も少なくない。しかし、エスパニョーラ島に関しては、植民地支配の拠点としての求心力が低下したことから、ドミニコ会がアルカラ大学をモデルにして大学を設立し、その後イエズス会も独自の教育機関を持った事実は軽視され、研究の対象とされてこなかった。本研究では、エスパニョーラ島におけるサントドミンゴ大学の設立と発展の歴史を当時の史料の分析を通して検証し、そこにスペイン人文主義の影響がどのような形で反映されたのかを考察した。

この問題については、ラテンアメリカ史を専門とする立岩礼子(研究分担者)が担当した。

「言語教育」について

現代人にとってのネブリハの代名詞とも呼べる『カスティーリャ語文法』は、16世紀

スペインにおいてほとんど顧みられることはなく、ネブリハの名前は『ラテン文法』によるものであった。彼の『ラテン文法』は、文法学校や大学の教科書として指定されていたがために継続的に使用されたが、ネブリハの文法書(ラテン語・俗語)の真価が発揮された場所は、スペイン本国よりもむしろ新大陸においてであった。それは「伝道語学」という形で新大陸土着の諸言語を宣教師たちが文法や辞書にまとめる際のモデルとして、ネブリハの文法書と辞書が最大限に活用されたからである。本研究では、伝道語学が国家によって推進された歴史的背景について、メキシコおよびペルーに焦点を当てて検証するとともに、伝道語学の史的意義について考察を加えた。

この問題については、言語思想史を専門とする岡本信照(研究分担者)が担当した。

(2)研究成果として、平成30(2018)年3月に『16世紀スペインにおける人文主義教育思想の展開と実践』と題する研究成果報告書(207pp.)を100部刊行した。その具体的な内容は下記の通りである。

目次

I. 人文主義教育について

(担当: 安藤真次郎)

1. 16世紀スペインの大学におけるレトリック教育 アルカラ、サラマンカ、バレンシア大学を中心に (pp.11-28)

参考資料1: レトリック作家の肖像および大学関連の写真(pp.29-31)

参考資料2: 16世紀スペインの主要レトリック作品(pp.32-35)

II. 宗教教育について

(担当: 野村竜仁)

2. 16世紀のアルカラ大学における宗教教育の理念と実践(pp.39-58)

参考資料3: アルカラ大学関連の写真(pp.59-61)

III. 新大陸における教育について

(担当: 立岩礼子)

3. スペイン・ルネサンス人文主義教育の浸透 新大陸初の大学としてのサントドミンゴ大学の設立と進展 (pp.65-81)

参考資料4: サントドミンゴ市地図およびサントドミンゴ教会関連施設の写真(pp.82-89)

IV. 言語教育について

(担当: 岡本信照)

4. 新大陸のネブリハ(Nebrija indiano) 伝道語学の展開とルネサンス思想 (pp.93-117)

参考資料5: 新大陸で印刷された先住民語対象の語学学習書(pp.118-119)

参考資料6: 植民地時代にスペイン語またはポルトガル語で編纂された非ヨ-

ロッパ系言語の文法書および辞書 (1547-1810) (pp.120-130)

資料1: スペインおよび新世界の大学設立一覧表(pp.133-135)

資料2: スペイン・新世界ルネサンス関連人物伝(pp.136-191)

文献一覧(pp.193-207)

5. 主な発表論文等

(雑誌論文)(計5件)

野村竜仁

「アルカラ大学における大学教育の理念と実践」『神戸外大論叢』第67巻第1号(2017年11月): pp.39-57.

安藤真次郎

「16世紀スペインにおける人間観に関する一考察 - ペレス・デ・オリバの『人間の尊厳についての対話』を中心に - 」*Revista de Estudios Hispánicos de Kioto*, 第16号(2016年12月): pp.1-20.

岡本信照

「ペドロ・シモン・アブリルの教育思想と16世紀の俗語擁護論 フェリーペ2世宛書簡を中心として」*Revista de Estudios Hispánicos de Kioto*, 第16号(2016年12月): pp.21-43.

安藤真次郎

「ルイス・ビーベスの『人間の物語』に見られる人間観について - ピーコの『人間の尊厳について』との比較を通して - 」『スペイン現代史』第23号(2015年12月): pp.105-116.

岡本信照

「伝道語学(1547-1800)の歴史的意義に関する考察」『スペイン現代史』第23号(2015年12月): pp.117-140.

(学会発表)(計8件)

立岩礼子

《Nueva España y Asia en el pensamiento de Hernán Cortés》国立台北教育大学・招待講演、(於: 国立台北教育大学) 2017年3月22日。

安藤真次郎

「16世紀スペインにおける大学教育の理念と実践 - レトリックの場合 - 」日本イスパニヤ学会第62回大会(於: 神戸市外国語大学) 2016年10月2日。

岡本信照

「16世紀スペインにおける大学教育の理念と実践 - ネブリハをめぐって - 」日本イスパニヤ学会第62回大会(於: 神戸市外国語大学) 2016年10月2日。

野村 竜仁

「16 世紀スペインにおける大学教育の理念と実践 - アルカラ大学の場合 - 」日本イスパニヤ学会第 62 回大会（於：神戸市外国語大学）2016 年 10 月 2 日。

立岩 礼子

「16 世紀スペインにおける大学教育の理念と実践 - エスパニョーラ島の場合 - 」日本イスパニヤ学会第 62 回大会（於：神戸市外国語大学）2016 年 10 月 2 日。

安藤 真次郎

「16 世紀スペインにおける人間観に関する一考察 - ペレス・デ・オリバの『人間の尊厳について』を中心に - 」日本イスパニヤ学会第 61 回大会（於：神田外語大学）2015 年 10 月 11 日。

岡本 信照

「ペドロ・シモン・アブリルの教育思想と 16 世紀の俗語擁護論」日本イスパニヤ学会第 61 回大会（於：神田外語大学）2015 年 10 月 11 日。

立岩 礼子

「16 世紀スペイン領アメリカにおける大学創設 - エスパニョーラ島の事例から - 」日本イスパニヤ学会第 61 回大会（於：神田外語大学）2015 年 10 月 11 日。

6 . 研究組織

(1) 研究代表者

安藤 真次郎 (ANDO, Shinjiro)
龍谷大学・文学部・教授
研究者番号：70309110

(2) 研究分担者

野村 竜仁 (NOMURA, Ryujin)
神戸市外国語大学・外国語学部・教授
研究者番号：70405364

岡本 信照 (OKAMOTO, Shinsho)
京都外国語大学・外国語学部・教授
研究者番号：90309518

立岩 礼子 (TATEIWA, Reiko)
京都外国語大学・外国語学部・教授
研究者番号：80321058